

第2回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 平成 28 年 10 月 27 日 (木) 10:30~12:00
会場 : 常磐公園・中央図書館
出席者 : 市内在住の市民 9 名
旭川市土木部公園みどり課 4 名
常磐公園自然環境調査ワークショップ参加者 1 名
配付資料 : 次第
説明資料
「常磐公園のあゆみを振り返るセミナー」案内

○開催内容

- 1 開会
- 2 オリエンテーション
- 3 現地視察
 - ・自然環境調査状況 (気象計)
 - ・前回の意見を参考に新たに設置した自然更新ゾーン
 - ・秋期自然環境調査にて観測されたコウモリが営巣しているドロノキ
 - ・池を浄化する作用のあるイケチョウ貝
- 4 秋期自然環境調査の結果 (速報) 報告
- 5 「樹木の管理について」協議
- 6 閉会

視察事項における意見について

- 新しく設置した自然更新ゾーンについて、この近くにある樹木はアカシア・ハルニレである。周辺の状況（樹種）などを把握した上で自然更新ゾーンの設置箇所を選定し、落ち葉の堆積厚等を検討すべき。
- 昨年度植栽したヤナギについて、根付いてないと思われる。更新を検討すべき。その際はヤナギの種類と複数本の植栽を検討すること。

「樹木の管理」について

- 説明資料中「老朽木の対応」について、この事例樹木についてはワイヤなどの控えを設置して倒木の対策を出来ないだろうか。
- この事例樹木については倒木対策が可能であると思われる。ただし、当該箇所は周りに樹木が少ないためであり、樹木密度が高い箇所にある老朽木は伐採も検討すべきである。
- 常磐公園の樹木密度の管理をどう行っていくかが重要。
- 巨木や老朽木をうまく管理しながら後継木を育てていくべき。
- 来園者の安全を第一に考える。
- この事例樹木について、腐朽部分にセメント等を注入し補修することはできないか。→（市回答）シンボリックな樹木については検討もするが、この樹木については現在のところ意見のような補修は考えていない。

その他の意見

- 説明資料中の意見まとめの中にある「落ち葉を木の根元に集めることはよくない」ということはない。ただし、芝生の管理としては問題がある。その場所の特性を見極め、適正な地表管理をすべき。
- 「集い」に集まる顔ぶれが変わらず、意見が固定化されている。市民委員会など多くの人が集まる場所に直接出向くことも必要。
- 常磐公園は歴史のある公園で思い出のある人も多い。そういった人たちの意見も是非きいてみたい。
- 未来を担う子供たちなど多くの意見を聞ける機会をつくってはどうか。